

(別紙様式)

# 令和7年度 赤穂市学校評価報告書

学校名	赤穂市立有年小学校
-----	-----------

## 1 本年度の学校経営方針

- ◆ 学校教育目標 自他を大切に、夢や志をもって学び続ける児童の育成～ふるさと未来を拓く有年っ子～
- ◆ めざす児童像 知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を身に付け、自信と誇りをもつ児童
- ◆ めざす教師像 主体的な研修と授業実践に努め、教育の専門職としての力量を高める教師
- ◆ めざす学校像 一人一人のよさを引き出し、違いを認め、高め合う学校

## 2 本年度の学校重点目標

- 1 知徳体の調和のとれた「生きる力」と「ふるさと意識」の醸成
- 2 基礎・基本の確実な定着と学ぶ楽しさのある学習指導の工夫
- 3 児童の内面への共感的理解に基づく生徒指導の充実
- 4 多様性を認め合い、一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
- 5 豊かな自己実現をめざし、新たな価値を創造する探究学習の充実
- 6 地域との信頼関係を基盤に据えたコミュニティ・スクール「地域とともにある学校」の推進
- 7 新たな日常に対応する教育活動の創造と質の高い学びを実現する教育環境の整備・充実

## 総合的な学校関係者評価

- 小規模校のよさを生かし、児童一人一人を大切に教育活動が工夫・充実されている。学校の取組や児童の様子が学校だより、ホームページ等で家庭や地域にも伝わっている。
- 児童が地域行事に参加する機会を大切にしている。今年度は「地域合同防災訓練」や「昔遊び体験」を実施することができた。また、地域との協働学習である「ふるさと有年学習」などとおして、地域への愛着や誇りを高めていきたい。今年の「有年っ子わくわくフェスティバル」もすばらしかった。
- 落ち着いた学校運営と個に応じたていねいな指導で、児童の成長を支えていることが感じられた。あいさつも以前より恥ずかしがらずに元気にできるようになっている。
- スポーツ参観日やPTA主催の行事も開催でき、親子で楽しむ機会がもてたのはよかった。
- 今年度は、「有年小学校統廃合の反対に係る要望書」を市長に提出することができた。今後ともよりよい有年小学校のあり方を、学校・家庭・地域の協働体制で考えていきたい。
- 表現力・コミュニケーション力の育成など、特色ある教育活動を継続して進めてほしい。
- コミュニティ・スクール8年が経過した。今後とも学校・家庭・地域の連携を進めていきたい。

## 3 自己評価結果 (A～D) A:達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成できなかった D:達成できなかった

観点 (重点目標)	評価項目 (学校・教師の取組)		評価資料	達成状況	改善の方策
	項目	指標			
確かな学力	項目	主体的・対話的で深い学びを保障する授業づくり	アンケート 観察	A	・目標と指導と評価の一体化を具体的に推進する。 ・学ぶ楽しさを味わえる授業づくりを図るとともに習熟度にあわせた適切な指導を工夫する。 ・効果的なICT機器の活用につながる教員のスキル向上のための研修の充実を図る。
	指標	めあてとまとめを配置し、見通しをもって学べる授業			
	項目	確かな学力の定着	アンケート テスト・ノート		
	指標	家庭学習の手引き、学習タイム、読書タイム			
	項目	特別支援教育の充実	アンケート 記録		
指標	個に応じた支援、指導計画に基づいた指導				
豊かな心	項目	人権教育の推進	アンケート 記録	A	・「報告・連絡・相談」を徹底することで、学校全体で子どもたちを見ることができている。素早い情報共有と対応ができている。 ・地域との協働学習を一層推進し、小規模校のよさを生かした教育活動を工夫する。 ・毎月の生活・いじめアンケートに加え、きめ細かな児童観察に努め、教育相談体制を確立する。
	指標	互いを尊重し合い心の居場所となる学級づくり			
	項目	道徳教育の充実	アンケート 観察		
	指標	道徳の時間(年間35時間)の確実な実施			
	項目	ふるさと有年学習の充実	アンケート 記録・観察		
	指標	生活科・総合的な学習の時間における探究的な学習			
項目	いじめ・不登校問題への積極的な対応	アンケート 記録			
指標	いじめ対応マニュアルに基づく早期発見・早期対応				
健やかな体	項目	開発的生徒指導の推進	アンケート 観察	A	・運動に親しむ機会を増やし、普段からの体力向上を図る。 ・「早寝・早起き・朝ごはん運動」の取組を充実させ、家庭との連携を図る。 ・家庭と協力しながら食育の充実を図っていく。授業の中でも「ちよこっと食育」を進める。
	指標	児童の内面理解に基づくカウンセリングマインドの実行			
	項目	体育・運動能力の向上を図る指導の工夫及び改善	アンケート 観察		
	指標	体育のあゆみの活用、業間マラソンの年間実施			
	項目	家庭と連携した生活習慣の改善と確立	アンケート 観察		
指標	早寝早起き朝ごはん運動の啓発と充実				
項目	健康教育・安全教育の充実	アンケート 記録			
指標	感染症の予防、保健指導、安全教育の工夫・充実				
項目	食育の充実	アンケート 記録			
指標	食育指導、給食指導の充実				

## 学校関係者評価

◎:適切である ○:ほぼ適切である △:あまり適切でない ×:適切でない

自己評価は適切か	改善方策は適切か	課題と来年度具体的改善方法
◎	◎	・学習規律も整っており、1時間の学習の流れが見える授業づくりがどの学年も統一してなされている。 ・非常にきめ細やかに一人一人に対応し、ICT機器も効果的に取り入れながら、学力保障を進めていることに、地域として信頼を寄せている。 ・少人数なので、一人一人に対する指導が細やかにできる点を生かし、確かな学力を身に付けさせてほしい。
◎	◎	・「ふるさと有年学習」をはじめ、小規模の良さや地域の特色を生かした教育活動を推進されている。ふるさとを愛し、誇りに思う児童の育成に向けて、今後も指導の充実を図ってほしい。 ・「有年っ子わくわくフェスティバル」を継続し、児童主体の発表会をさらに充実させていく ・どの子どもも安心して過ごせる学校環境を整えるとともに、「不登校をつくらない」ための開発的生徒指導を進め、児童が互いを思いやるあたたかい学校づくりを進めてほしい。
◎	◎	・年間通して元気に過ごすことができた。学校、家庭での感染予防対策も浸透してきている。 ・毎朝の体幹トレーニングなど、子ども達の運動の機会を確保し、体力づくりの向上に努めてほしい。 ・どの学年もメディア利用時間が増えている。また、朝食を食べない児童や孤食の児童も見られる。「早寝・早起き朝ごはん・運動」だけに限らず、生活指導や保健指導で児童や家庭への啓発を引き続き進めていく。

安全・安心	項目	危機管理体制の確立	アンケート 観察	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>「報告・連絡・相談」を徹底し、組織的対応体制を確立する。</li> <li>毎月の安全点検を強化し、迅速な修繕や安全確保に努める。</li> <li>基本的な感染症予防対策の徹底と継続を図る。</li> </ul>		
	指標	ヒヤリ・ハットの視点とリスクマネジメントの意識改革					
	項目	学習環境の充実					
	指標	情操を培う落ち着いた校内放送、整った掲示環境	アンケート 観察				
	項目	基本的な感染予防対策の徹底	アンケート 観察				
	指標	ポストコロナ社会における日常の予防対策の改善					
	項目	教育公務員としての高い使命感と倫理観		アンケート 観察	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>自他の言動を見合い、教員自身が高い倫理観と人権意識をもつように努める。</li> <li>授業公開週間を定期的実施し、教員の専門性を高める。</li> <li>保護者や地域の声に対して、即時対応し、見える化する。</li> <li>定時退勤日を意識づけ、タイムマネジメントを意識し、勤務時間の適正化に努める。</li> <li>ハラスメント防止担当者を設け、職場環境の維持向上に努める。</li> </ul>	
学校組織力	指標	豊かな人間性、真摯な姿勢と使命感、服務規律の遵守					
	項目	教職員の資質能力の向上	アンケート 観察				
	指標	OJTの実施と校内研修の充実					
	項目	教職員の協働体制の確立	アンケート 観察				
	指標	共通理解による組織的対応と報告・連絡・相談の徹底					
	項目	学校評価の改善・充実	アンケート 記録				
指標	学校経営方針に則った実践と評価の一体化	アンケート 記録					
	項目	教職員の働き方改革の推進と業務改善	アンケート 記録				
	指標	定時退勤日の完全実施、記録簿による勤務管理	アンケート 記録				
	項目	職場環境の維持・向上	アンケート 記録				
	指標	労働安全衛生委員会を中心とした実態把握と改善					
課題教育	項目	国際理解を深める教育の充実	アンケート 記録・観察	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月の情報モラルタイムでの指導を行い、適切な情報の発信・受信や情報モラルについて指導する。ICT支援員を活用する。</li> <li>親子福祉体験学習に限らず、普段の生活の中から福祉に対する意識を向上させていく。</li> <li>「地域合同防災訓練」をはじめ、防災・安全教育の充実を図り、命を守る意識と態度を養う。</li> </ul>		
	指標	外国語活動やグローバル化に対応した教育の充実					
	項目	福祉教育の推進	アンケート 記録・観察				
	指標	福祉体験活動の充実、自他を尊重する意識・態度の醸成					
	項目	防災教育の推進	アンケート 記録・観察				
	指標	様々な自然災害を想定した自助・共助の防災訓練の実施					
	項目	キャリア教育の充実	アンケート 児童ノート				
	指標	自らの生き方を考える教育活動の工夫・充実	アンケート 記録・観察				
	項目	情報活用能力の育成	アンケート 記録・観察				
	指標	GIGAスクール構想の充実と情報モラル教育の推進					
コミュニティ・スクール	項目	コミュニティ・スクールとして地域とともにある学校	アンケート 観察	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営協議会の充実を通して住民の参画をよち推進する。</li> <li>挨拶等により地域住民と児童と保護者の連携を深める。</li> <li>関係機関代表者への協力要請を進め、学校応援団を組織する。</li> </ul>		
	指標	地域人材の活用、地域行事への参加					
	項目	積極的な情報発信				アンケート 記録	
	指標	各種お便り・ホームページ・参観日等による発信	アンケート 記録				
	項目	地域関係機関との連携	アンケート 記録				
	指標	学校運営協議会組織の立ち上げ準備	アンケート 記録				

◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>校地の除草作業や伐採作業など、関係機関やPTAと協力して環境整備に努める。</li> <li>毎月の安全点検を徹底したり、不要な物を除去したりして、安全確保に努める。</li> <li>地域の見守りボランティアも継続していただき、地域と協力して安全な登下校を見守っていく。</li> </ul>
◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>水曜日が定時退勤日であることは学校便りでも周知している。日々忙しさはあるが、先生方には笑顔で児童に向き合えるようにしてほしい。 (勤務時間終了後には留守番電話対応)</li> <li>保護者連絡は学校から先に行くことを徹底し、説明責任と信頼関係の構築に努めていく。</li> <li>タイムマネジメントのある働き方を通して、勤務時間の適正化に各自が取り組むように意識改革を進め、実践につなげていく。</li> <li>従来のやり方に固辞せず、PDCAサイクルで行事を見直し、持続可能な行事や教育活動を工夫していく。</li> </ul>
◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年1. 17の防災士を招いての防災学習は大変意義があるので、継続してほしい。「地域合同防災訓練」も継続し、防災に強い地域をつくっていく。</li> <li>効果的なタブレットを効果的に活用した教育活動を推進していく。(オンラインでの交流会など)</li> <li>メディアに触れる時間がどの学年も増加傾向にある。学校だけでなく、家庭でもメディア活用のルールが必要。情報モラル教育も継続していく。</li> <li>身近な福祉に関心が深まるよう、あいさつや助け合いなど日々の行動から、子どもたちに働きかける。</li> </ul>
◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校規模適正化・適正配置の課題について、引き続き、学校・家庭・地域が一体となって、情報共有し、取組を進めていきたい。</li> <li>オンラインでの他校との交流など、様々な人と関わり合える活動内容を工夫していく。</li> <li>報道機関や関係機関等への積極的な情報発信を行う。</li> </ul>

自己評価における特記事項

※ 達成状況の評価は、教職員の自己点検を点数化し、平均点を3段階で表している。(4点満点)
A 3. 5以上
B 2. 8以上3. 5未満
C 2. 0以上2. 8未満
D 2. 0未満

項目以外の点での来年度の課題や具体的改善方法

<ul style="list-style-type: none"> <li>学校規模の良さを生かした教育活動の一層の工夫・充実</li> <li>児童数減少による腹式学級体制への対応 →一学級1担任の確保 →教科担任制、学年ブロック体制等の柔軟な運用</li> <li>特色ある教育活動の展開 →「ふるさと有年学習」の推進 →表現力・コミュニケーション力の育成</li> <li>一人一人のニーズに応じた校内体制の確立 →特別支援教育の啓発・充実、教職員の意識改革・資質向上 →自他を認め合う豊かな心の育成</li> </ul>
---